

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分
 【発行日】平成30年1月18日(2018.1.18)

【公表番号】特表2015-519554(P2015-519554A)
 【公表日】平成27年7月9日(2015.7.9)
 【年通号数】公開・登録公報2015-044
 【出願番号】特願2015-509310(P2015-509310)
 【国際特許分類】

G 0 1 N 21/17 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 21/17 E

【誤訳訂正書】

【提出日】平成29年12月1日(2017.12.1)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 4 2

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 4 2】

個々の雨滴（４）が付着しているフロントガラス外側からの照明光反射（９）は、一連の暗い領域又は欠落部（１０）を有する。この照明光反射（９）の場合、その輝度が減少する。何故なら、フロントガラス（２）中を透過する光線（ｔ１）の大部分が、雨滴（４）を透過して当該フロントガラスから出射（ｔ２'）され、カメラ（１）へ向かって反射（ｒ２'）されないからである。それ故に、この照明光反射（９）は、雨（４）がフロントガラス（２）の外側（２．２）上に付着しているか否かの情報を本質的に包含し、専らこの照明光反射（９）のストラクチャーが、測定信号として使用され得る。評価は、例えば、パターン認識によって実施することもできるし、又は、現在のストラクチャー特徴を、記憶及び／又は学習されたストラクチャー特徴（例えば、１つの照明反射光（９）内の例えば一連の暗い部分領域やシュリーレンといったようなもの）と比較することによって実施可能である。その上、複数の照明光反射（９）のストラクチャーが、相互に比較可能であり、及び／又はこれらの照明光反射（９）のうちの少なくとも１つの照明光反射（９）のストラクチャーの経時変化の分析によって比較可能である。当該ガラス外側からの反射のストラクチャーと、基準のストラクチャーとしての当該ガラス内側からの対応する反射との比較もやはり実施可能である。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ーガラス（２）の後ろに配置され、このガラスの前方の遠距離領域に焦点合わせされたカメラ（１）と、

ー前記ガラス（２）へ向けられた少なくとも一本の光線（ｈ）を発生させるための照明光源（３）とによって、前記ガラス（２）の外側（２．２）の雨又は降水（４）を認識するための方法において、

前記ガラス（２）の前記外側（２．２）から反射した少なくとも一本の光線（ｒ２；ｒ２'）が、前記カメラ（１）に当たるように、前記照明光源（３）が、前記少なくとも一

本の光線（ h ）を前記ガラス（２）へ向け、
 ー前記カメラ（１）が、前記ガラス（２）の外側（２．２）から反射した前記少なくとも一本の光線（ r_2 ； r_2' ）の写像（９）を撮影し、
 ー前記ガラス（２）の前記外側（２．２）から反射した前記少なくとも一本の光線（ r_2 ； r_2' ）の前記写像（９）のストラクチャーが、前記ガラス（２）の前記外側（２．２）の雨又は降水（４）の種類を分類するために評価され、

画像シーケンスが、前記カメラ（１）によって撮影されることによって、前記ガラス（２）の前記外側（２．２）から反射した前記光線（ r_2 ； r_2' ）の、前記カメラ（１）によって映し出された前記ストラクチャーの経時変化が割り出され、

前記ガラス（２）の前記外側（２．２）から反射した前記少なくとも一本の光線（ r_2 ； r_2' ）の前記写像（９）の前記ストラクチャーの評価が、パターン認識を包含し、

前記ガラス（２）の前記外側（２．２）から反射した前記少なくとも一本の光線（ r_2 ； r_2' ）の前記写像（９）の前記ストラクチャーの評価が、存在するストラクチャー特徴と、ラーニングされたストラクチャー特徴との比較を包含する当該方法。

【請求項２】

前記ガラス（２）の前記外側（２．２）の個々の雨滴（４）の存在が、前記ガラス（２）の前記外側（２．２）から反射した少なくとも一本の輝度のより低い前記光線（ r_2 ； r_2' ）の前記写像（９）の連続する部分領域（１０）から認識される請求項１に記載の方法。

【請求項３】

前記ガラス（２）の外側（２．２）の霧雨及び／又はこぬか雨（４）の存在が、前記ガラス（２）の前記外側（２．２）から反射した前記少なくとも一本の光線（ r_2 ； r_2' ）の前記写像（９）内のシュリーレン（１１）から認識される請求項１又は２に記載の方法。

【請求項４】

前記ガラスの内側（２．１）と外側（２．２）とから反射した光線（ r_1 ； r_2 又は r_2' ）が、空間的に分離された少なくとも二本の光線（ r_1 ； r_2 又は r_2' ）として前記カメラ（１）に当たるように、前記照明光源（３）が、前記少なくとも一本の光線（ h ）を前記ガラス（２）に向ける結果、前記カメラ（１）が、前記ガラス（２）の前記外側（２．２）から反射した前記少なくとも一本の光線（ r_2 ； r_2' ）の写像（９）と、前記ガラス（２）の前記内側（２．１）から反射した前記少なくとも一本の光線（ r_1 ）の写像（８）とを撮影する請求項１～３のいずれか１項に記載の方法。

【請求項５】

前記ガラス（２）の前記内側（２．１）の曇りが、前記ガラス（２）の前記内側（２．１）から反射した前記少なくとも一本の光線（ r_1 ）の前記写像（８）の評価から認識される請求項４に記載の方法。

【請求項６】

前記ガラス（２）の前記内側（２．１）から反射した前記少なくとも一本の光線（ r_1 ）の前記写像（８）の前記ストラクチャーが評価される請求項５に記載の方法。

【請求項７】

前記ガラス（２）の前記内側（２．１）から反射した前記少なくとも一本の光線（ r_1 ）の前記写像（８）の光量が評価される請求項５又は６に記載の方法。

【請求項８】

ーガラス（２）の後ろに配置されたカメラ（１）と、
 ー前記ガラスに向けられた少なくとも一本の光線（ h ）を発生させるための照明光源（３）と、
 ー前記ガラス（２）の外側（２．２）から反射した少なくとも一本の光線（ r_2 ； r_2' ）の写像（９）のストラクチャーを評価するための画像処理手段と、
 ー前記写像（９）の前記ストラクチャーの評価に基づいて前記ガラス（２）の前記外側（２．２）の雨又は降水（４）の種類を分類するための手段とを有する、ガラス（２）の雨

又は降水（４）を認識するための装置であって、前記カメラが、前記ガラス（２）の前方に存在する遠距離領域に焦点合わせされていて、前記ガラス（２）の外側（２．２）から反射した少なくとも一本の光線（ r_2 ； r_2' ）が、前記カメラ（１）に当たるように、前記照明光源（３）が、前記少なくとも一本の光線（ h ）を前記ガラス（２）に向ける当該装置において、

画像シーケンスが、前記カメラ（１）によって撮影されることによって、前記ガラス（２）の前記外側（２．２）から反射した前記光線（ r_2 ； r_2' ）の、前記カメラ（１）によって映し出された前記ストラクチャーの経時変化が割り出され、

前記ガラス（２）の前記外側（２．２）から反射した前記少なくとも一本の光線（ r_2 ； r_2' ）の前記写像（９）の前記ストラクチャーの評価が、パターン認識を包含し、

前記ガラス（２）の前記外側（２．２）から反射した前記少なくとも一本の光線（ r_2 ； r_2' ）の前記写像（９）の前記ストラクチャーの評価が、存在するストラクチャー特徴と、ラーニングされたストラクチャー特徴との比較を包含する当該装置。

【請求項 ９】

前記ガラスの内側（２．１）と外側（２．２）とから反射した光線（ r_1 ； r_2 又は r_2' ）が、空間的に分離された少なくとも二本の光線（ r_1 ； r_2 又は r_2' ）として前記カメラ（１）に当たるように、前記照明光源（３）が、前記少なくとも一本の光線（ h ）を前記ガラス（２）に向ける請求項 ８に記載の装置。